

●指導のポイント

本校の道徳教育の重点目標は「豊かな心を持ち かかわりを大切にし、よりよく生きる子どもを育てる」ことである。道徳科の授業の中で、問題解決的な学習を取り入れることで、児童がより主体的に考え、仲間と話し合い、多面的・多角的な視点から物事を判断する力が付く。こういった取組の充実・積み上げにより、仲間とのかかわりの中でよりよく生きようとする子どもの育成につながると考える。

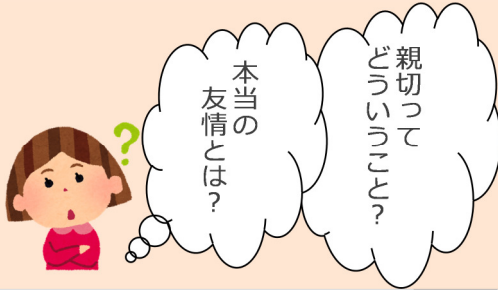
授業における具体的な指導のポイントは、次に示す発問の工夫である。

問題解決的な学習

発問の工夫

【導入】「学習テーマの設定」

学習テーマを道徳的価値に関する問題と自分の生き方や考え方を関連付けたものにさせる



道徳的な意味や意義を尋ねる発問

道徳的諸価値の理解

【展開】「追求活動」

道徳的問題について多面的・多角的に考えさせる



- 問題状況を分析させる発問
- 主体的な判断をさせる発問
- 解決策についての考えを深めさせる発問

自己の生き方についての考え

【終末】「児童一人一人の解決（まとめ）」

追求したことを自分との関わりでまとめさせる



再び道徳的な意味や意義を尋ねる発問

道徳的諸価値の理解